

都市地理班の調査



写真1



写真2

都市地理班ではプロジェクトの対象となっている海外の5都市を訪問し、地図や資料を収集してきました。ジャカルタではBAKOSURTANAL（国立測量・地図作成調整局）を訪問し、地形図を購入しました。（写真1）

調査対象都市では水環境に関係のある場所を見学しつつ、必要に応じて聞き取り調査を実施しています。バンコクではチャオプラヤ川沿岸の集落を歩きながら、現地住民の水利用についてインタビューをしました。（写真2）



写真3



写真4

各都市の地下水利用の変化を理解するため、近代水道敷設以前の身近な水源である浅井戸がどのように利用されているか古い集落や寺院、農家などを探しながら調査を行いました。写真3は台北での農家にある井戸に訪問した時の様子です。

研究対象の7都市すべてについて、1920～30年代頃、1960～70年代頃、2000年頃の3時期の官製地図を収集し、それらを基に土地利用データを作成しました。具体的には、収集地図をスキャナーで画像データとして読み込み、約500m四方の格子データと重ね合わせ、各格子内でもっとも卓越する土地利用を地図から判読し、属性データとして入力しました。(写真4)